

● 広報

おくび



2006

4

NO.618



季節

を訪ねて

vol. 11

塩水選

まだ背丈ほど雪が残っている小国の里にも、春のたよりが聞こえてくる頃、米作りに重要な塩水選の作業が行なわれます。卵を浮かべ塩水の比重を調整する舟山昭一さん（小玉川）は、先人から受け継いだこの技法で、今年も田園を黄金色に染める良質な種もみを丁寧に見分けます。

みんなの 広場

2/26

年間総合優勝決まる
地区対抗行事最終種目
ウィンタースポーツ大会



平成十七年度の地区対抗行事最終種目となる、ウィンタースポーツ大会が、二月二十六日、横根スキー場で開催されました。アルペン競技のほか、かんじきリレーなど六つのレクリエーション競技が行われ、出場選手には盛んな声援が送られました。激戦の末、沖庭地区が優勝、第二位に北部地区、三位に東南部地区がそれぞれ入賞しました。この大会が終了したことにより、今年度の地区対抗総合優勝は沖庭地区に決定しました。



3/4

魂を揺さぶる旋律

津軽の響き

三味線奏者

山上進のタベ



三味線奏者山上進のタベが、三月四日、白い森交流センター「りふれ」で開催されました。この催しはおぐに白い森(株)が主催したもので、今回で三回目の公演となりました。十代の頃から津軽三味線奏者として才能を現し、多方面で活躍されている山上氏は、代表的な津軽民謡や最上舟唄などを披露しました。観客は厳しい風土と歴史によって育まれた、激しくも悲壮に満ちた津軽の響きに魅了されました。

商工会女性部が主催するおぐに冬まつりが、三月四日、おぐに開発総合センター脇の町民広場で開催されました。会場では小国産の食材がたっぷり入った「母ちゃん元気鍋」が振る舞われ、元氣をつけた子どもたちが、雪上スポーツ大会に参加しました。大会では三人四脚雪上リレーや、腰に付けたベルトを引き合って目の前にある旗を取る雪上フラッグなどが行われ、多くの人で賑わいました。

3/4

母ちゃんの元気鍋を
食べて力を発揮

おぐに冬まつり



ーこの人に聞くー



小国サッカースポ少
ママさんフットサルチーム
主将 渡邊 千代美さん

私たちの頑張っている姿が 子どもたちの励みになれば嬉しいです

長井地区ママさんフットサル大会で3連覇の快挙を成し遂げた、小国サッカースポ少ママさんチーム主将の渡邊千代美さん（兵庫館）にお話をお伺いしました。

「12月に入ると、2月の大会に向けて週1回練習をしています。始めは体を動かすだけでも大変なのですが、私たちが一生懸命になっている姿が子どもたちの励みになれば嬉しいと思っています。家では子供がコーチになって練習をすることもありますし、親子の絆や保護者の交流が一層深まったように思います。私たちがおもいっきり練習をすることができるのは、家族の支えがあつてのことです。家族そして、仕事の合間をぬって指導してくださる監督、コーチ関係者の皆様には本当に感謝しています。私は、子どもが中学生になるため今年度でチームを卒業しますが、たくさんのかたが参加し、楽しみながら活躍できるよう今後も応援していきたいと思っています」。



3/5

生産者と消費者の 信頼関係を築く

食と農のフォーラム

小国町認定農業者協議会（遠藤和彦会長）が主催する食と農のフォーラムが、三月五日、おぐに開発総合センターで開催されました。このフォーラムは、食に関して消費者と生産者の信頼関係を築きながら、産業の活性化を図ろうと開催されたもので、高畠町「ゆうきの里さん」の遠藤周次さんによる「地産・地消を考える」と題した講演の後、参加したかたがたが意見交換を行いました。



3/26

体育協会創立 50周年記念イベント

バイオニアレッド
ウィングスとの交流

今年度バレーボールVリーグ女子で、みごと優勝を果たしたバイオニアレッドウィングスを招き町民との交流会が、三月二十六日、町民総合体育館で行われました。これは、町体育協会が今年度創立五十周年を迎えた、記念行事の一環として開催したものです。当日は子どもから大人まで約百五十人が参加し、食生活に関する講演の後、選手と一緒にソフトバレーボールなどで楽しみました。

平成十八年度

の町の
当初予

算が、三月定例議会で決まりました。

厳しい財政環境の中にあつて、引き続き行財政改革の重点的な推進を図りながら真に自立する地域経営を実践していくため、総額百六億五千万円の予算を編成して、各種施策を展開していきます。

そこで今月は、新年度の施政方針のあらましについてお知らせします。

平成十八年度

施政方針

昨年、わが国は、明治以降経験したことのない人口減少時代を迎えました。人口の増加を基本に設計されている現

在の社会・経済システムや社会

保障制度など、様々な分野における仕組みの転換が求められることとなり、人口減は日本が直面する今世紀最大の構造変化と言われております。

私は、こうした変化を受け止め、農山村にふさわしい新しい仕組みづくりに取り組むとともに、人々が子孫繁栄を願う気持ちや、子どもを授かることをこの上もない喜びとする純朴な心、そして、家族や地域社会が支え合つて生きていくために築いてきた「絆」を大切にするとおやかな社会の実現に努めてまいります。

地域社会を

取り巻く諸情勢

わが国の景気動向は、その拡大局面が四年近くも続いていることや、多くの企業でこの傾向が少なくとも今年の後半まで続くものとみているこ

53億5,800万円

各種施策を展開します

などから、戦後最長の五十七カ月を記録した「いざなぎ景気」を年内に超えるという期待感が高まっています。一方、人口動態や労働市場の構造変化、国、地方全体での財政改革などにより、その動向は全国横並びの成長を目指した時代とは違った形で推移していく可能性があることを、認識しておく必要があるものと存じます。

国では「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」等に基づき、政策金融改革、総人件費改革、民間への業務開放・規制改革等を通じて「小さくて効率的な政府」を実現するとともに、規制・金融・税制・歳出等の各分野にわたつて構造改革を断行することとしております。このため、平成十八年度予算については、従来の歳出改革路線を堅持、強化し、徹底した見直しを行い四年ぶりに前年度を下回る規模で編成を行っております。

予算の編成方針

県、国の動向を踏まえ、さらに、国の「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」を受けて策定作業を進めております「集中改革プラン」に基づき、今後五年間を「集中改革期間」と位置づけ、各般の改革に取り組んでまいります。萎縮・縮小傾向にのみ走ることなく、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるよう、果敢にかつ機転がきいた町政運営を進めてまいります。

このような基本的な考え方のもと、平成十八年度の予算編成にあたりましては、引き続き

一、自立を可能とする

地域づくり

一、地域資源を活用した

産業づくり

一、安全で安心できる

暮らしの舞台づくり

一、少子高齢社会に

対応した暮らしづくり
一、いきいきとした

小国人づくり

の五つの柱に沿って、施策を展開することといたしました。予算の積算にあたりましては、経常経費の削減に努める一方、福祉、教育の充実、産業振興、社会基盤の整備といった当面する課題に対して、選択と集中に意を傾けながら、施策を構築したところであります。

歳入

町税につきましては、景気が回復基調にあることや税制改正などに伴い、町民税の個人及び法人税割等で増収が見込まれるものの、固定資産税の評価替えに伴う減収要因もあることから、前年度比一・八%増の九億七千五百三十一万五千円を計上いたしました。地方交付税は、制度の見直しにより投資的経費の大幅な縮減が行われることから、前年度比二・〇%減の二十五億七千万円を計上いたしました。また、普通交付税を地方債に振り替えて措置される臨時財政対策債も毎年段階的に削減

されていることから、前年度比一三・七%減の二億二千万円を見込み、地方交付税との合計額では八千八百万円の減となりました。

歳出

義務的経費のうち人件費につきましては、町長、助役、教育長の給料月額をそれぞれ一三%、八%、六%減額することとしたほか、一般職の職員数の削減などから、前年度比五・二%の減となりました。扶助費は制度改正により児童手当の対象年齢が拡大されたことなどから五・三%増加いたしました。公債費は前年度に比べ四千八百十四万四千円、四・一%の減となり、この結果、義務的経費の総額では、八千三百六十七万八千円、三・二%の減となりました。物件費及び維持補修費については、経常的な事務経費の節減を図るとともに、施設の維持補修等を計画的に実施していくこととし、極力抑制いたしました。また、補助費等におきましては、病院事業会計及び老人保健施設事業会計の負担金を減額いたしました。

平成18年度

一般会計予算は

美しく活力に満ちた町の創造をめざし

施策のあらまし

自立を可能とする

地域づくり

行財政改革の推進につきましては、「集中改革プラン」に沿って、平成十七年度から二十一年度までの五カ年に集中的に取り組んでまいります。まず、職員の定員管理につきましては、現在の職員数よりさらに一〇%程度削減していくほか、平成十七年人事院勧告に準拠し、給料表の水準引き下げ等により人件費を大幅に削減してまいります。また、財政の中期展望に基づき、歳入確保と歳出削減対策に一層取り組み、財政の健全化を維持していくとともに、小国町人材育成基本方針を定め、職員の資質向上と意識改革を図ってまいります。

三位一体改革による税源移譲の具体化が進んでいくことや、行政サービスの「受益と負担」の均等性を確保していくため、税及び各種使用料等の収納率向上に努めてまいります。さらに、今後利用の見

込まれない町有財産の売却等を促進しながら、歳入の確保を図ってまいりたいと存じます。

生活環境の向上や産業・文化振興等の主体的活動を支援するふるさとづくり総合助成事業及び農村の暮らしづくり総合助成事業を継続実施するほか、住民のボランティア活動をシステム化していく新たな取り組みとして、地域づくり推進事業を展開することといたしました。

現在のまちづくりの考え方は、平成九年度に策定した「白い森の国おぐにの基本構想」に基づいているものでありますが、その目標年次が平成二十年であることや、国において新たな国土形成計画策定に着手していること。さらに、山形県では「やまがた総合発展計画」策定の最終段階を迎えていることなどから、これらの考え方を踏まえ、本町におきましても、次期まちづくり総合計画策定の準備作業に取り組むことといたしました。本年度は、ムラ機能の維持・保全の在り方を主題として、新しい時代にふさわしい自立する農山村社会像を探る調査

投資的経費につきましては、斎場建設に着手するとともに、道路整備事業の計画的な実施等により、前年度比二四・三%増の五億三千九百三十二万五千円を確保いたしました。

研究事業を、財団法人地方自治研究機構と共同で実施してまいります。

さらに、総務省自治行政局過疎対策室と連携して、交流居住促進計画モデル事業を実施することとし、山菜の学校や雪の学校等に都市住民のモニターを受け入れ、それによって抽出される交流推進の課題や問題点を整理し、本町における都市山村交流の望ましい姿を探ってまいります。



山菜採りの体験などを行い都市との交流を広める

また、平成十七年度事業として策定しております環境基本計画に基づき、新エネルギー導入のためのモデル事業として、役場庁舎等公共施設における化石燃料転換の具体的手法を調査研究いたします。

各種情報基盤の充実により、地域住民が便利で豊かな生活を送ることができるよう、その基盤整備を進めてまいります。まず、携帯電話受益エリアを拡大していくため、本年度は町単独の補助事業を創設し、五味沢地区で通信事業者が行う移動通信用鉄塔施設整備に助成していくほか、山形県が展開している電子申請システムに参画することとし、県内各市町村と協調しながら、住民生活の利便性の向上に努めてまいります。

地域資源を活用した 産業づくり

町内産業の振興にあたりましては、まず、その基幹であります東芝セラミックス株式会社及び日本重化学工業株式会社との緊密な連絡体制を整えながら、持続的な企業活動を維持していくための環境づくりに取り組んでまいります。本年度は、平成七年度から日量約四百立方メートルの暫定給水を開始した工業用水道について、水源である横川ダムの平成十九年度完成に合わせ、当初計画水量である日量

七千立方メートルを取水するための導水設備及び浄水設備の増設に着手し、安定的な給水体制を整えてまいります。雇用対策につきましては、雇用相談員を継続配置し雇用情勢の安定に努めてまいります。



雇用相談員を配置

本町商業の状況は、消費需要が減少傾向にあることや、周辺都市への大型店の出店や規制緩和による競合店の増加などにより、極めて厳しい状況にあります。また、本年度から県内全域で商工会の組織改編が進められることから、安定的な経営指導を確保していくため、商工会運営費補助のほか、地域振興事業全般に

かかる補助制度の新設、さらに、昨年度から商工会が取り組んできた街なか発掘・再生事業及び、ポイントカードシステムを更新する商店街活性化推進事業に対して引き続き支援してまいります。

観光振興施策といたしましては、小国町観光協会の自立的な組織体制強化に向けた支援策を講じていくこととしたほか、おぐに石楠花まつり及び夏まつり、大相撲小国合宿等の開催に対して引き続き助成してまいります。

各交流施設の管理運営にあたりましては、本年度から指定管理者制度を導入することとし、おぐに白い森株式会社等に運営を委ねてまいります。なお、温泉健康館ゆの温泉につきましては、引湯できない状況となりましたのでこれを閉鎖し、温水プールのみ

の運営といたしました。おぐに白い森株式会社につきましては、新会社設立当初より経営基盤の安定強化を図るため、その状況に応じて多様な支援策が必要であると認識してきたところでありますが、本年度は増資による基盤強化が必要と判断されました。

ので、出資金を計上したところであります。

本町農業の実態を精査の上、地理的、地形的、気象的条件を生かした望ましい営農形態の在り方を、農業関係者とともに議論を深めながら、探求してまいりたいと存じます。

その推進力として本町農業の持続的な発展を支えている認定農業者協議会の活動支援を行うとともに、新規就農者の確保、育成を図るため、新たに農業担い手育成事業を展開することといたしました。また、中山間地域等直接支払事業、農業地利用集積事業、水田農業構造改革事業等を引き続き実施し、これまで取り組んできた優良農地の保全と、地域特産作物生産の円滑な推進体制を確保してまいります。

小国町食の文化、産業づくり推進事業で支援してまいりました生産団体等の主体性を引き出しながら、マタギの郷交流館及び水源の郷交流館等を会場にこれまでの成果を検証し、さらに、安全、安心、環境、食育などのテーマを踏まえ、新たな取り組み手法を検討してまいります。

町内で生産される農産物の



食の文化、産業づくりを推進しながら、生産団体の主体性を引き出す

た本町は、そのフィールドにふさわしい環境にあることから、全国に先駆けて「森林セラピー基地」、「セラピーロード」としての認定を受けるため、その事業に着手したところであります。

昨年度は、候補地の効能を生理的に評価するための実証実験受入のほか、町内関係機関等で構成する森林セラピー検討委員会を設立し、森林の癒し効果発揮のための条件整備や、既存産業・施設等との連携を深めながら、森林セラピーをテーマに活力ある山村社会の実現に向けて検討を始めたところであります。



森林セラピーをテーマに活力ある山村社会の実現をめざす

付加価値を高め、販路及び域内消費の拡大を図っていくために、本町の地域資源である雪の冷熱エネルギーを活用した農産物貯蔵施設「雪室」を整備することとし、本年度は基本設計に着手してまいります。建設場所といたしましては、水源の郷交流館の隣接地を予定しております。

急激な社会変動が人々に与える精神的・肉体的ストレスを解消していく対象として、森林の持つ癒し効果に対する期待が高まりをみせており、産学官連携による「森林療法（セラピー）」に関する共同研究が進められております。ブナを中心とする森林に包まれ

本年度は、検討委員会の継続開催のほか、看板、ベンチ等の作成及び森林セラピー実

践モデル事業、さらに森林セラピー全国サミットに要する経費を計上いたしました。

この度は、温身平周辺一帯を候補地としてあげておりますが、本町全体がセラピー基地にふさわしい環境にあるものと認識いたしておりますので、全町森林セラピー基地として事業展開できるよう努めてまいりたいと存じます。

昨年度、町内でナラ枯れ被害が確認されましたので、被害箇所の状況をみながら、健全木の保護と薬剤注入による被害木駆除に取り組んでまいります。なお、搬出可能な箇所における被害木については伐採の上、木炭化等の活用手法について実験してまいりたいと存じます。また、町有林造林事業及び森林整備地域活動支援推進事業を継続し、森林整備を促進してまいります。

安全で安心できる 暮らしの舞台づくり

昨年十月に実施された国勢調査結果の速報によりますと、本町の総人口は九千七百四十二人で、平成十二年の同調査と比べ五百二十人、率にして

五・一％の減となりました。

社会基盤の整備にあたっては、集落構造、産業構造、人口構成や住民意識などの変化を見極めながら、「作り続ける社会基盤」から「使い続ける社会基盤」へと、多様な基盤を有効・効果的に活用していく持続可能な社会の実現に向けた仕組みづくりに努めてまいります。

町道の整備では、新規事業として長者原内川線の内川橋前後約四百メートル区間の改良に着手するほか、興和橋から幸町入口までの約百メートル区間の幸町一号線を拡幅改良することといたしました。また、長沢三面線及び土尾二渡戸線、さらに、幸町十一号線、小坂町朝篠線、町北裏線等の改良事業を継続実施してまいります。

昨年度から県の補助事業を導入して取り組んでおりますアルカディア街道復興計画十三峠整備事業を継続実施することとし、本年度は宇津峠の環境保全等の活動を支援してまいります。

また、県施工事業である県道五味沢小国線の沖庭橋架替及び太鼓沢地内の改良、主要

地方道玉川沼沢線沼沢地内の改良については、それぞれ継続事業として、計画的に実施されると伺っておりますので、県執行事業負担金を措置したところでです。



住民の長年の願いであった沖庭橋の架替

地域高規格道路の新潟山形南部連絡道路につきましては、期成同盟会の活動を柱に、整備区間への早期格上げを関係機関に要望してまいります。

冬季間における住民生活の安定は、本町にとって極めて重要な施策でありますので、今後とも安全で快適な冬の生活の確保に努めてまいりたいと存じます。本年度は、ロータリ除雪車二台を更新するほか、町岩地区導水路の落雪防

止梁の設置と、幸町十一号線に凍雪害防止事業として流雪溝を整備することといたしました。また、一般住宅の屋根雪処理の負担軽減と木材利用の促進による経済活性化を目的に、小国の家づくり助成事業を継続してまいります。

上下道の整備につきましては、下水道の污水管敷設とあわせて、増岡地区で配水管の入れ替えを行うことといたしました。また、現在の上下道は、整備後三十年が経過し施設の老朽化が進んでいることから、抜本的な改修を図っていくための調査に取り組みます。

横川ダム建設工事は、昨年度、最盛期であったダム本体工事が順調に進み、本年夏にはコンクリート打設が終了するものと伺っております。平成十九年度の完成に向けて、いよいよ最終段階に至るものと存じます。

町営バスの路線及び時間などの運行形態とその利用実態を再点検し、本町の地理的条件等を勘案しながら、利便性が高くより効率的な形態を調査検討の上、平成十九年度中には新しい交通システムを導

入してまいりたいと存じます。消防施設といたしましては、小型動力ポンプ付軽積載車一台及び防火水槽四基、消火栓一基を整備してまいります。

昨年度基本設計に着手いたしました斎場につきましては、平成十九年度の供用開始に向けて計画的に建設事業を進めることとし、本年度は、用地買収のほか実施設計業務の委託、本体工事に着手し、全体の四割程度の出来高を確保してまいりたいと考えております。

少子高齢社会に対応した暮らしづくり

将来にわたって自立した町を維持していく上で、その支え手となる子どもたちを育てていくことは極めて重要な課題であり、社会全体がこれにかかわる「子育ての社会化」を実現していかなければならないものと存じます。

子育て支援の一つとして、平成十年度に町独自の考え方で基準額より低く設定した保育料を維持してまいります。また、子育て支援センターにつきましては、相談業務の体



安心して子育てできる環境を整備

制整備を図りながら内容の充実に努めていくほか、子育てサロン等の事業を引き続き実施いたします。

保護者の多様な保育需要に応じていくため、独自に一時保育を展開している民間保育所に対して、町単独で一時保育促進事業を創設して支援していくとともに、延長保育に対する助成事業を継続してまいります。

おぐに保育園につきましては、毎月第一・第三・第五土曜日を希望保育の日として、午前中のみ保育を実施しておりますが、終日保育の希望が多いことから、実施体制を整備して対応していくことと

いたしました。なお、今後とも子どもの減少が見込まれますので、町全体でそれに見合った保育環境を整えていく必要があります。このため、本年度は、おぐに保育園の定員削減について具体的に検討してまいりますし、将来的に公共として提供していくべき保育サービスの在り方について、明らかにしてまいりたいと存じます。

介護保険制度につきましては、総合的に改正された内容で本年四月から新たにスタートいたします。介護保険の理念である「自立支援」の達成を目指す観点から、介護予防を目的とした地域支援事業と新予防給付が重視されたサ-



地域の支え合いにより活力ある高齢社会をめざす

ビス内容となります。これら制度改正の中で、高齢者に関する相談や心身の状態に合わせた支援を提供する総合的なサービス拠点の設置が求められておりますので、これまでの在宅介護支援センター機能を軸に、これを強化した地域包括支援センターを本年四月から開設することといたしました。

介護保険制度の適切な運用とともに、在宅介護の充実を図るため対象家庭への出前講座や、地域全体で高齢者を支えていく仕組みを考える座談会の開催、さらに、若年層を対象にした高齢者疑似体験などのソフト事業を実施いたします。

障害者の福祉施策につきましては、障害者自立支援法に基づき、障害者の地域生活を支援していくための指針を明らかにする障害福祉計画を策定してまいります。また、特定の内容を除き、基本的に町がサービス提供する仕組みとなりますので、その公平性を客観的に確保するため、障害程度区分認定を導入するとともに、それを審査、判定する認定審査会を設置して、基準

を明確化してまいります。

健康サポーター養成事業では本年度はその最終年を迎えることから、サポーターの知識、技術の向上を一層図るとともに、介護予防や健康づくり、生きがいづくり事業を、癒しの園を中心に教育委員会と連携して実施してまいります。

いきいきとした 小国人づくり

本年四月から、玉川中学校及び小玉川中学校の二校を小国中学校に統合してまいります。これは、昭和四十七年及び四十八年の二カ年にわたって、北部小中学校を統合新設して以来の取り組みであり、本町の教育環境に大きな変化をもたらすものであります。

また、教育委員会できりとめた「学校統合に関する基本的な考え方」では、今後の児童・生徒数の推移等から鑑みて、概ね平成二十五年度を目標として、本町の学校は小学校、中学校それぞれ一校に統合することが望ましい姿で

あると提言されております。



先駆的に取り組んできた小中高一貫教育の研究開発

このため、本年度は、統合後の小国中学校及びこれによつて小学校のみとなる玉川小学校、小玉川小学校のそれぞれが、環境変化に応じた適切な学校経営ができるよう体制整備に努めていくほか、町全体における将来の統合に向けて、段階的にその準備を進めてまいります。

本町における小中高一貫教育の研究開発は、本年度その最終年を迎えることや、小・中・高という枠組みで、先駆的に取り組んできたこれまでの成果を検証し、本町が持つ自然的、歴史的、社会的、そして人的な資源を広く活用し

た小中高一貫教育の望ましい方向性を示す研究開発の総仕上げに努めてまいります。

また、これらの実践とともに、小国高等学校独自の魅力ある高校づくりの一環として実施されております、短期留學事業へ引き続き支援してまいります。同校のこうした取り組みやこれを支援する関係団体等のご努力によつて、小国高等学校が一段とその輝きを増しておられますことに深く敬意を表する次第であります。



小国高等学校の生徒がこれまでの活動を町民に報告

生涯学習の推進にあたりましては、それぞれの年代や社会環境の変化に対応していく内容をテーマとした学習講座

を開設するとともに、文化講演会等を引き続き実施してまいります。また、地域の活力醸成に向けた地域生涯学習推進事業に取り組んでまいります。

体育振興につきましては、各種スポーツ団体の育成支援とともに地区対抗行事を継続実施していくほか、総合スポーツ公園陸上競技場の第四種公認更新や町民総合体育館の柔道用畳を入れ替えていくことといたしました。

美しく活力に満ちた 町の創造

明治七年（一七七〇年）に越後塩沢で生まれた鈴木牧之は、四十年の歳月を費やし、雪国越後の民俗、習慣、伝説、産業について記述した「北越雪譜」を出版しました。

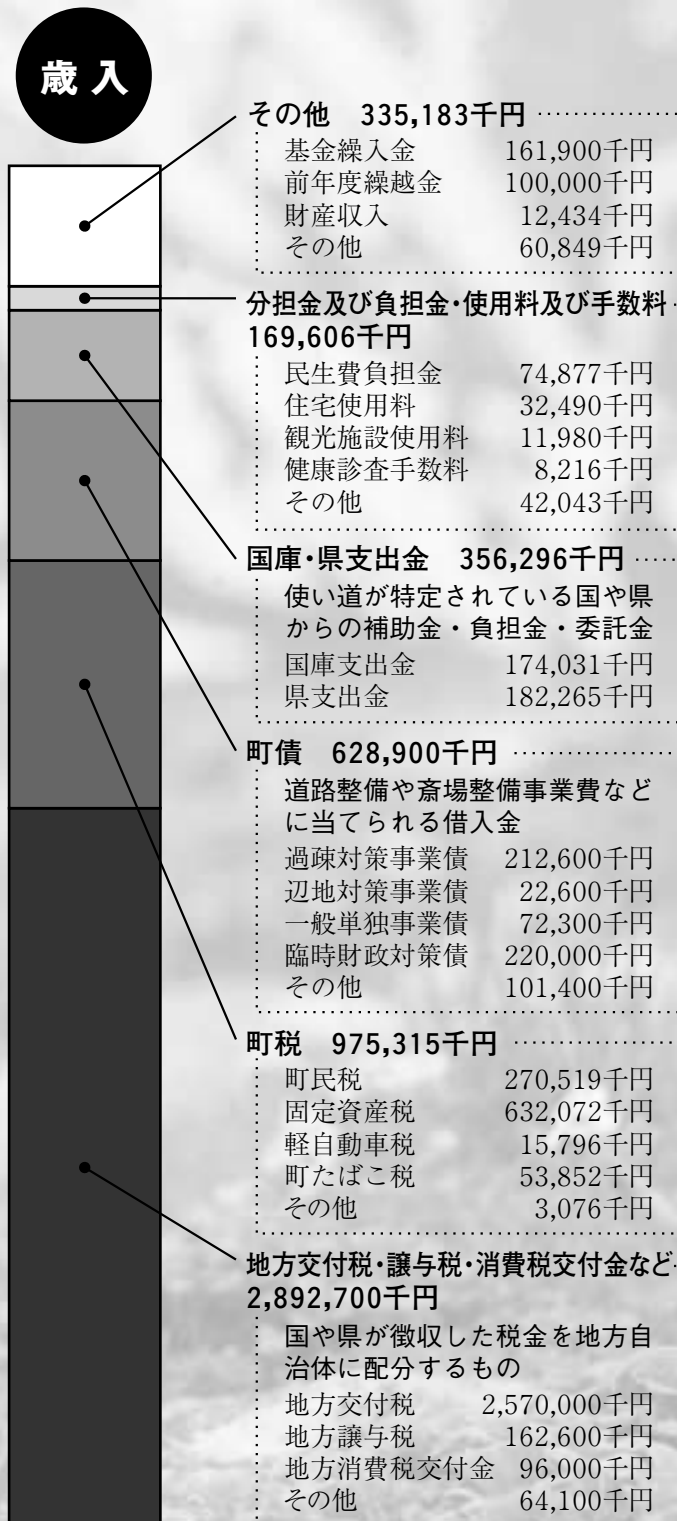
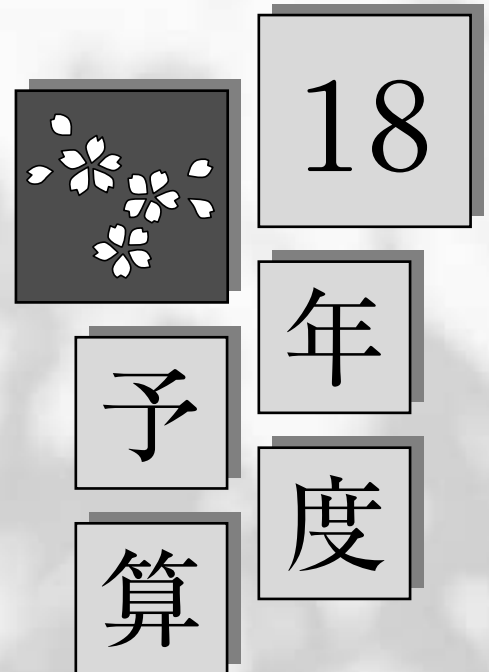
江戸時代のベストセラーとなったその著書の中で、「我越後のごとく年毎に幾丈の雪を視ば何の楽しき事あらん。雪の為に力を尽し財を費やし千辛万苦する事、下に説く所

を視て思いはかるべし。」と、温暖な地域の人々に対して、雪国の厳しさの現実を訴えておりますが、その心境は、二十年ぶりの強い寒波に襲われた今冬の私たちにも通じるものであると思います。

一方で牧之は、「雪中に糸となし、雪中に織り、雪水に洒（そそ）ぎ、雪上に曬（さら）す。雪ありて縮あり。されば、越後縮は雪と人と気力相半ばして名産の名あり。魚沼郡の雪は縮の親というべし。」と、この雪を地域資源として高く評価し、雪をいとい続けてきた人々に、その見方を大きく転換させ、雪に対して広く豊かで人間的な視野を与えてくれました。

本町の今の産業構造は、この雪や豊かな森林がもたらす潤沢な水資源によつて形成されてきたものであります。私は、自然の厳しさに耐えるだけでなく、その厳しさを産業振興や独特の生活文化、生活技術を生みだし、豊かさに変えてきた先人達の知恵と努力に学びながら、美しく活力に満ちた町の創造に努めてまいります。

3月定例議会において、平成18年度予算が議決されました。一般会計予算は53億5,800万円、特別会計及び企業会計を合わせた町予算の総額は106億5,210万1千円で前年度と比べ3.5%の増額となりました。今月には18年度予算のあらましについてお知らせします。



主な事業とその予算額（単位：千円）

事業名	予算額
携帯電話受益エリア拡大促進事業	8,000
ムラ機能の維持保全に関する調査研究事業	3,219
子育て支援事業	13,505
地域づくり推進事業	840
人間ドック助成事業	3,906
斎場整備事業	99,222
小国町食の文化、産業づくり事業	3,065
農家担い手育成事業	1,613
森林整備地域活動支援推進事業	18,334
森林セラピー推進事業	5,956
商店街活性化推進事業	7,500
除雪事業	192,651
町道長者原内川線道路整備事業	23,800
小中高一貫教育支援事業	6,930
地域生涯学習推進事業	622
生涯スポーツ振興事業	3,966

まちづくり予算のあらまし

一般会計 53億5,800万円

特別会計 33億9,960万円

企業会計 18億9,450万1千円

今年度の一般会計予算で町民一人に使われる町のお金は

544,899円

(平成18年3月1日現在の人口9,833人で割った額)



区 分	18年度予算額	対前年度比
一 般 会 計	53億5,800万円	△0.3%

特別会計	簡易水道事業会計	2,280万円	△5.8%
	国民健康保険事業会計	9億1,100万円	6.6%
	部落有財産会計	1億 610万円	6.2%
	老人保健会計	10億7,870万円	△2.0%
	下水道事業会計	4億 220万円	11.8%
	訪問看護会計	6,140万円	8.3%
	介護保険会計	8億1,740万円	5.6%
	小 計	33億9,960万円	4.0%

企業会計	病院事業会計	12億3,071万3千円	11.8%
	老人保健施設事業会計	3億1,870万円	0.8%
	水道事業会計	1億5,796万6千円	21.4%
	工業用水道事業会計	1億8,712万2千円	81.6%
	小 計	18億9,450万1千円	14.8%

合計 106億5,210万1千円

歳出

議会費・労働費など 136,516千円
議員報酬、労働者対策など

農林水産業費 204,945千円
水田農業構造改革、家畜管理、
森林整備、森林セラピー推進など

消防費 222,864千円
消防施設整備、災害対策費など

商工費 232,844千円
観光施設管理運営、商店街活性化
対策、工業用水道事業など

教育費 402,944千円
小中学校管理費、小中高一貫教育
推進、生涯学習講座開設など

衛生費 537,011千円
人間ドック助成、老人保健、予
防接種、斎場整備、ゴミ収集・
処理など

総務費 671,047千円
庁舎維持管理、町営バス運行、
携帯電話受益エリア拡大促進事
業、戸籍住民基本台帳費など

土木費 813,771千円
除雪、道路橋梁新設改良、小河
川整備、小国の家づくり助成事
業など

民生費 995,757千円
介護予防支援、障害者自立支援、
保育園管理運営、福祉医療給付
など

公債費 1,140,301千円
町が借りているお金の償還金



玉川の学びやを去る中学1・2年生と卒業生が、つばめのように高く強くたくましく未来に向かっていこうと胸に誓い合唱(玉川)

に向かって

最後となる玉川
保護者や地域の
した。
きた、両校のこ



前田春枝さん
(小玉川)

昭和37年から用務員として、また地域の住民としてたくさんの子どもたちや先生がたと過ごしてきました。退職した後も家が学校の前ということで毎日子どもたちの顔を見ることができました。時代の流れと共に、グラウンドで遊んでいる子どもたちの姿は、すぐに数えられるほどの人数になりとても寂しさを感じています。

私が雪堀をしていると「手伝うよ」と下校途中に声をかけてくれたりと、小玉川の子どもたちは本当に素直でやさしい子どもたちばかりです。小国中学校に統合し大勢の中に入っても負けないよう、そして自信を持って頑張りたいです。

玉川中学校 絆



校長先生から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡された(玉川)

玉川中学校のあゆみ

- 昭和22年 南小国村立南部中学校開校
(明治6年に小国小学校の分校として設置されその後独立した玉川小学校に併設)
- 昭和29年 校舎新築(木造2階建て)



旧校舎

- 昭和38年 足中中学校創立(分校から独立)
- 昭和47年 創立25周年記念式典挙行
- 昭和58年 足中中学校が統合
寄宿舎改築
- 平成元年 玉川中学校と校名変更 校舎新築
- 平成12年 文部省指定「中高一貫教育」の指定
- 平成13年 文部科学省研究開発校「小中高一貫教育」の指定
- 平成16年 文部科学省研究開発校「小中高一貫教育」の指定
- 平成18年 小国中学校に統合のため休校
延べ719名の卒業生を送り出す
- 平成18年 3月31日現在
中学1年生7人 2年生1人 3年生4人(卒業生)
(小学生15人) 佐藤健治郎校長

心にひびけ 小玉川中学校 13人の思い

小玉川中学校のあゆみ

昭和36年 南部中学校小玉川分校から、小玉川中学校として独立
(明治8年に玉川小学校小玉川分教場として開校した小玉川小学校と併設)



旧校舎

昭和56年 創立20周年記念式典
昭和60年 校舎新築
昭和61年 交流学习・郷土学習開始
平成2年 インドネシア交流10周年
平成4年 第47回国民体育大会、山岳競技縦走の会場となる
平成12年 文部省指定「中高一貫教育」の指定
平成13年 文部科学省研究開発校「小中高一貫教育」の指定
平成16年 文部科学省研究開発校「小中高一貫教育」の指定
平成18年 小国中学校に統合のため休校
延べ191名の卒業生を送り出す
平成18年3月31日現在
中学1年生1人 2年生2人 3年生4人(卒業生)
(小学生6人) 五十公野良一校長



在校生から卒業生一人ひとりに激励の手紙が送られた(小玉川)



小嶋建男さん
(足野水)

玉川寮の舎監として、冬季間は子どもたちと寝泊りを共にしてきました。交通の便が良くなり通うことも容易になりましたが、子ども達にとって寮生活は家では得ることのできない経験をすることができたのではないかと思います。

地域にとっては、中学校がなくならないということはとても寂しいことですが、子どもたちのことを一番に考えれば仕方のないことだと思います。大勢の中に入って初めは戸惑いもあるかとは思いますが、そうした試練はきっと後に子どもたちの役にたつと思います。苦労があつて楽があるのだと思いますので頑張つて欲しいです。



夢

4月から小国中学校への統合が決まり今回で中学校と小玉川中学校の卒業式が、3月16日、かたがたが見守る中それぞれの学校で行われま
地域の学校として、歴史と伝統を築きあげて
れまでの主なあゆみについて紹介します。



共に学校生活を送ってきた小学生と中学生と一緒に合唱
感動の涙をよんだ(小玉川)

三月 定例議会

三月定例議会が、三月八日から十六日まで開催されました。今回の議会では、平成十七年度各会計補正予算や平成十八年度各会計予算など二十八議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。主な内容は、次のとおりです。

平成十七年度 一般会計補正予算

今回の補正では、老人医療費の増加に伴い、老人保健特別会計への繰り出し金を追加措置しました。このほか、公共事業関連の事業費の確定や決算見込みに基づき執行残額の減額を行いました。

この結果、補正後の平成十七年度一般会計の総額は、五十七億六千三百九十三万六千円となりました。

地域包括支援センターを設置

高齢者の心身の状態を把握しながら、介護に関する相談や介護予防事業などの総合的なサービスを行う拠点として、専門的な知識を有する職員を配置した地域包括支援センターを設置することとしました。これにより在宅介護支援センターは廃止することとなります。

国民保護協議会を設置

他国から武力攻撃を受けたときや大規模なテロなどが発生した場合に、国民の生命や財産などを保護するため、「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」が制定されました。この法律に基づき、町民の保護に関する計画策定と総合的な施策を推進するため「小国町国民保護協議会」を設置します。また、実際に武力攻撃などを受けた際に対処する「国民保護対策本部」及び「緊急対処

事態対策本部」の体制を整備することとしました。

介護保険料を改定

介護保険法の改正を受け、第三期小国町介護保険事業計画の策定とあわせ、第一号被保険者の介護保険料の改定を行うこととしました。今後町が取り組んでいく介護予防事業や、地域密着型サービスなどの各種介護保険事業サービスを提供していくための財源として、基準保険料率を、月額四千四十一円と設定しました。

*詳細について、お知らせコーナーに掲載しております。

町特別職の給料減額幅を拡大

町長、助役、教育長の給料については、平成十四年度から減額してきましたが、町内の景気動向や財政環境の悪化などを考慮し、平成十九年三月三十一日まで、さらに一年間延長するとともに、減額幅をそれぞれ三パーセントずつ

拡大することとしました。これによって、町長が十三パーセント、助役が八パーセント、教育長が六パーセント、給料月額より減額します。

一般職の給与を改定

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、年功的な給与上昇の抑制と勤務成績がより反映される昇給、昇格制度に改正するとともに全給料表の水準を、平均で四・八%引き下げる改定を行いました。特に高年齢層の職員については、平均約七%の減額となります。平成二十一年度までの間、昇給抑制措置を行うなど人件費の抑制を図ることとしました。

訂正とお詫び

三月号臨時議会の中で、指定管理者の指定と管理経費の設定を行ったとお知らせしましたが、「指定管理者の指定と管理経費に係る債務負担行為の限度額の設定を行った」の誤りでした。訂正してお詫びします。

町長室から

小国町長 小野精一

本町が、平成17年度「立ち上がる農山漁村」に選定され、先日東京で行われた授与式に出席してきました。町内の農業団体などが、地域の資源を活用して産業づくりに努めたことが高く評価されて選定されたものです。

今、多くの農山漁村は、過疎化や高齢化に苦しんでいます。そんな中で、本町には観光わらび園や岩魚養殖、きのこ栽培などにより雇用を創出し、地域を元気にしているかたがたがたくさんおります。とてもすばらしいことです。この賞は、全国の多くの事例の中から、首相官邸で開かれる有識者会議で選定されました。このたびの受賞を励みとして一層地域おこし事業の推進に頑張っていきたいと思います。

消防団地域

活動表彰を受賞

安部工業株式会社（安部昌晴代表取締役）が、二月二十四日、消防団地域活動表彰（事業所の部）を受賞されました。この賞は、サラリーマン団員の増加や団員数の減少・高齢化などの課題に直面している中であって、消防団員である勤務者を雇用し、消防団活動を支援している優良事業所に対して贈られるものです。東京都虎ノ門で行われた表彰

式では、全国十二事業所の代表として、安部取締役代表に表彰状が授与されました。



癒しの園 シリーズ 最終回 健康考話

ヘルスマーター



町立病院院長
阿部吉弘

長かった冬も過ぎ、いよいよ活動的な春を迎えました。今年の冬は大雪で、多くのかたがたが雪の片付けなどで体を動かす機会が多かったのではないのでしょうか。しかしその割には体重が増え、しまった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今年の冬の内科外来では、定期的に体重を計っている方の中に、雪片付けなどで運動量は増えたのに体重が増えたという方が見受けられました。いろいろお話を聞きますと、運動の後に食欲が増し、食事の量も少し増えたという方がいらっしました。食事、運動のバランスは大切なようです。そのバランスが体重に現

れます。そういえば体重計は「ヘルスマーター」とも呼ばれています。皆さんの健康状態の変化が体重の変化として現れることがあります。ぜひ定期的に「ヘルスマーター」に乗ってみましょう。「どうしてこんなに増えたの?」、「食べているのにどうして減っちゃったの?」こんな疑問を感じたときにはどうぞ相談ください。体の「ヘルスマーター」は体重だとしたら、心の「ヘルスマーター」は何でしょう。私は「笑い」だと思います。よく「笑うかどには福きたる」というではありませんか。「癒しの園」では、今後とも包括ケアサービスの充実に努めながら笑顔があふれる地域づくりのために、皆様の健康面でのサポートをしていきます。二年にわたり「癒しの園」から健康情報や施設情報を皆様にお届けしてまいりましたが、今回が最終回になりました。ご愛読いただきましたことに心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

熊まつり

- 日時 5月4日(木) 10:00～
- 場所 国民宿舎飯豊梅花皮荘前広場
- 内容 神事、熊狩り模擬実演、特産品販売など
- 問合せ 小国町観光協会(☎62-2111)へ

おぐに 石楠花まつり

- 日時 5月3日(水)～7日(日) 9:00～18:00
- 場所 「ふれあいの家」特設会場
- ※日時と場所に注意してください。
- 入場料 200円(高校生以下無料)
- 問合せ おぐに石楠花まつり実行委員会事務局(産業振興課内☎62-2111)へ

募集

町営住宅等の入居者募集

町営住宅

あけぼの団地A103
2DK 1戸

▽対象 同居する親族があり、住宅に困っているかたで、平成17年の所得が月額20万円以下のかた

■募集期間 4月3日(月)～10日(月)

■入居時期 5月上旬

■敷金 家賃の3カ月分

■申込・問合せ 地域整備課へ

県営住宅の入居者募集

県営小国アパート

1号棟 1戸

■募集期間 4月3日(月)～12日(水)

■入居時期 5月中旬

■敷金 家賃の3カ月分

■問合せ 山形県すまい情報センター置賜西事務所(☎88-5651)へ

山形県食品安全モニター募集

■対象者 4月1日現在、満

18歳以上で県内在住のかた
■募集人員 40名程度(応募者多数の場合は、選考のうえ決定します)

■委嘱期間 6月(予定)から平成19年3月末日まで

■募集期間 4月3日(月)～5月2日(火)

■その他 募集要項、応募用紙は、置賜総合支庁に準備しています。また、山形県ホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)から応募用紙を印刷することも可能です。

■申込・問合せ 置賜総合支庁企画振興課(☎0238-24-2311)へ

危険物取扱者試験準備講習会受講者募集

■日時

▼乙種 5月25日(木)、26日(金)(2日間講習)

午前9時～午後4時

▼丙種 5月26日(金)

午前9時～午後4時

■場所 南陽市役所

■申込期限 5月15日(月)

■その他 受講申込書は、消防署小国分署に用意しています。

■問合せ 消防署小国分署(☎62-2154)へ

放送大学学生募集

放送大学は、テレビやラジオを利用して授業を行う通信制の大学です。

■募集学生 看護師資格取得集中科目履修生、学校図書館司書教諭講習集中科目履修生

■募集期間 5月1日(月)～31日(水)

■問合せ 放送大学山形学習センター(☎023-646-8836)へ

平成19年歌会始詠進歌募集

■お題「月」

■詠進要領

▼短歌は一人一首とし、自作で未発表のもの

▼用紙は習字用の半紙を横長に使用し、毛筆で書いてください。

書式図

お題「月」	〒住所 (山折り)
、、、、、	、、、、、
、、、、、	、、、、、
職業	氏名
生年月日	電話番号

■受付期限 9月30日(土)

■郵送先

〒100-8111 宮内庁

■問合せ 宮内庁式部職あてに、返信用切手を貼った封筒を添えて、9月20日(水)までに郵送で問い合わせてください。

催し

秘伝金目そば伝承教室

■日時 4月15日(土) 午前10時30分～

■場所 金目そばの館

■対象者 町内在住のかた(概ね20歳以上のかた)

■募集人員 15名

■参加費 千円

■申込期限 4月10日(月)

■申込・問合せ 産業振興課へ

第45回歩こう会

■日程 5月21日(日)

■コース 新緑の盗人沢林道を歩き、白子神社へ

沼沢駅～盗人沢～白子神社(約8キロ)

■対象者 どなたでも参加できます。

■参加費 大人千五百円、子ども七百元(保険料、交通

費)

相談

年金相談

- 日程 4月19日(水)
- 相談 10:30~14:30
- 場所 役場町民相談室
- 問合先 町民課へ

人権相談

- 日時 4月21日(金)
10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 相談員 人権擁護委員1名
- 内容 人権に関すること
- 問合先 町民課へ

- 費、写真代等
- 申込期限 5月12日(金)
- 申込・問合先 健康福祉課へ

お花見で☆おも白い森

昨年に引き続き、『おも白い森』がお花見イベントを開催します。お誘い合わせのうえ、ぜひおいでください。

- 日時 4月29日(土)
午後4時~8時

※小雨決行(雨天中止)

- 場所 総合センターグラウンド

- 内容 バンド演奏、踊り、夜桜ライトアップ、出店など

- 出店費用 五千円(飲食店以外は二千円)

- 申込期限 4月10日(月)

スタッフ募集

花見当日、または準備期間にお手伝いして下さるかた

を募集しています。高校生のかたも歓迎します。

- 問合先 事務局 新野さん
(☎62-3020)へ

ご案内

トネリコの苗木配布

チョウセンアカシジミを保護するため、食樹であるトネリコの苗木を無料で配布します。

- 日時 4月29日(祝日・土)
午前8時30分~9時30分

- 場所 総合センター1階入口前

- 問合先 教育委員会事務局へ

「ぶなの森」第10号発売

町の文化団体で組織する小

国町文化協会の会報誌「ぶなの森」第10号を発売します。

文化活動などについて綴られた文集です。ぜひご購読ください。

- 代金 1部二百円(バックナンバーも発売しています)

- 問合先 小国町文化協会事務局(教育委員会事務局内)へ

スポーツ安全保険

各種スポーツ、レクリエーション、文化、ボランティア活動などの団体活動に活用してください。

- 対象 5名以上の団体

- 保険期間 平成18年4月1日午前0時~平成19年3月31日午後12時まで

- 申込・問合先 (財)スポーツ安全協会山形県支部(山形県体育協会内) ☎023-6

学生納付特例制度の申請手続きを

20歳以上の学生のかたも、第1号被保険者として国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。しかし多くの場合、学生のかたには所得がありません。このため学生のかたは「学生納付特例制度」を利用し、市区町村の国民年金の窓口で申請し、認められると保険料を社会人になってから追納(保険料を後から納めること)することができます。

- 申請対象者 20歳以上の学生のかたで、本人の前年度所得が118万円以下のかた

- 手続きに必要なもの 学生証(コピー可)または在学証明書、印かん、年金手帳

- その他 前年度の所得を確認する必要があります。また、学生納付特例を承認された期間の保険料を、3年目以降に納付すると加算金がつきますので、早めの追納をおすすめします。

- 問合先 町民課へ

無料メンタル・健康相談日程

- 日時 5月25日、7月6日、9月7日、11月2日、平成19年1月25日、3月1日(奇数月、木曜日)

- 場所 長井市西置賜郡医師会館(長井市)

- 問合先 長井市西置賜郡医師会(☎88-2958)へ

子育て支援センターから

▽『あそびの広場』

- 日程 4月11日(火)、18日(火)、25日(火)子育て講座「身体測定と相談」、5月2日(火)

- 時間 10時~11時30分

- 場所 健康管理センター

- 対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

▽『なかよし広場』

- 日程と場所 4月20日(木) 総合センター

- 日時 4月13日(木)、4月27日(木) おぐに保育園

- 時間 10時~11時30分

- 対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

▽『こども愛ランド』

- 日時 4月22日(土) 9時30分~12時30分

- 場所 健康管理センター

- 内容 親子で簡単ケーキを作ろう

- 対象者 おおむね2歳からのお子さんとお家のかた

- ※4月19日(水)まで申し込んでください。

- ※詳しいことは、子育て支援センター(☎62-2330)へ



保健カレンダー

月 日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
5/17	ポリオ 予防接種	13:00 ～ 13:30	17年6月 ～12月生 まれ	※健康管理センター 1歳児健康診査は除く (4カ月児、 問診票)
5/26	4カ月児 ・1歳児 健康診査	13:00 ～ 13:15	18年1月、 17年5月 生まれ	
5/31	2歳児 歯科健康 診査	13:00 ～ 13:15	15年9月 ～11月生 まれ	

■問合先 健康福祉課へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◆はなうた日和 山本 幸久
 - ◆3歳でぼくは路上に捨てられた
ティム・ゲナール
 - ◆いつかパラソルの下で 森 絵都
 - ◆蒲公英草紙. 常野物語 恩田 陸
 - ◆疾走 重松 清
 - ◆東京飄然 町田 康
 - ◆天皇と東大 上・下 立花 隆
 - ◆100人のチカラ 影井 秀
 - ◆いろいろ1ねん レオ・レオーニ
 - ◆へんしんトイレ あきやま ただし
- ※ほか多数入荷しました。

●今月の休館日●

4月3・10・17・24日(毎週月曜日)・29日(祝日)

事業所名	求人数	職 種	年 齢	就業時間
山 和 建 設 (株)	5人	建築施行管理技士、土木施工管理技士、土木作業員	18～55	8:00～17:00
(株) 横 川 建 設	9人	重機オペレーター、土木作業員、廃棄物処理作業員、営業、運転手、事務員	不問	8:00～17:00
(株) 斉 藤 建 設	1人	土木施行管理技士	不問	8:00～17:00
大 河 内 産 業 (有)	7人	運転手、事務員	不問	8:00～17:00
(株) 井 上 製 作 所	2人	マシンオペレーター	18～30	8:30～16:45ほか
ハ イ コ ー (株)	2人	電気工事	18～40	8:00～17:00
猪 野 電 気 工 事 (株)	2人	工事作業員	18～35	8:00～17:00
(有) ヤ オ コ ー	5人	検査工、組立工	20～50	8:15～17:00
ひさご電材(株)小国工場	3人	電線製造加工、生産管理補助員	不問	8:30～17:30
舟 山 鉄 筋	1人	鉄筋加工	不問	8:00～17:00
(有) 小 国 技 研	4人	洗浄工	30～65	8:00～17:00
小 国 町 森 林 組 合	3人	販売員、山菜加工作業員	不問	8:00～17:00ほか
ヤマ運輸(株)長井営業所小国センター	2人	セールスドライバー	20～40	8:00～17:00
ヤマ運輸(株)山形長井センター	2人	ドライバー	20～40	8:00～17:00
東芝セラミックス(株)小国サイト	1人	製造技術開発	～35	8:30～17:10
日本重化学工業(株)小国事業所	3人	技術員、研究員、製造工	18～34	8:15～17:15ほか
(株)コラボレート山形営業所	5人	製造加工	不問	8:15～17:15ほか
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～17:45
(株)アイライン米沢センター	10人	製造加工	不問	8:30～16:40ほか
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	生涯設計デザイナー	20～50	9:00～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
第一ホール小国店南コンパニー	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
アベ プランニング	2人	サービススタッフ	不問	8:00～17:00
(有) 蔵 王 ス ト ア ー	2人	店員	不問	8:45～18:00
ファミリーマート小国町店	1人	店員	不問	0:00～8:00ほか
酒 味 庵 ま つ ば ら	1人	店員	不問	17:00～21:00ほか
介護老人保健施設 温身の郷	1人	栄養士	20～50	8:30～17:15
特別養護老人ホームさいわい荘	2人	介護員	不問	9:15～18:15ほか
医療法人社団緑愛会介護老人保健施設かがやきの丘	2人	介護員	不問	7:00～16:00ほか

求人情報

左の表は、3月14日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

4月3日(月)から
役場庁舎が禁煙になります

タバコによる健康被害については、当事者である喫煙者だけでなく、その周囲で本人の意志とは関係なくタバコの煙を吸ってしまう「受動喫煙」による被害が問題となっています。

これまで、庁舎内に空気清浄機を設置し、皆さまのご協力のもと喫煙者と禁煙者が共存できる環境を整えてきました。しかし、空気清浄機のみでは完全な分煙にならないことや、平成15年5月に施行された「健康増進法」の趣旨に基づき、4月3日(月)より庁舎内の禁煙を実施することとしました。

町民の皆様
ご理解とご協力をお願いします

児童手当が小学校6年生まで拡大されました

平成18年4月1日から、児童手当の支給対象年齢が現在の小学校3年生から小学校6年生までに拡大され、併せて所得制限が引き上げられます。

新たに児童手当を受けようとする児童の保護者のかたは、認定請求等の手続きが必要です。

なお、改正に伴う新規認定請求等は、平成18年9月30日まで受け付けたものに限り、特例的に4月1日（または支給要件に該当した日）にさかのぼって支給されます。

■改正の内容

内容	改正前	改正後
対象年齢	小学校3年生 （9歳到達後 最初の年度 末）まで	小学校6年生 （12歳到達後 最初の年度 末）まで
手当月額	第1子、2子 5,000円 第3子以降 10,000円	同 左
支払時期	2月、6月、 10月	同 左

■手続き（該当する保護者のかたに、申請用紙等を送付します）

対象	新小学校4年生 (H8.4.2~H9.4.1生まれ)	新小学校5年生 (H7.4.2~H8.4.1生まれ)	新小学校6年生 (H6.4.2~H7.4.1生まれ)
手 続 き	当該児童について、 小国町から平成18 年3月31日まで児 童手当を受給して いた保護者のかた は、新たな手続き は必要ありません。 （4月以降も引き 続き支給されます）	○現在、児童手当を受給していない 保護者のかた 新規認定請求書の提出が必要です。 ○妹や弟がおり、現在、児童手当を 受給している保護者のかた 額改定認定請求書の提出が必要で す。	

※これまで、児童手当を受給していない保護者のかたで、所得制限の引き上げにより、新たに児童手当を受給できる場合がありますので、確認してください。

■問合せ先 健康福祉課へ

4月1日から 介護保険料が変わります

介護保険制度の改正や、新たに開始されるサービスの利用に伴い、第1号被保険者（65歳以上のかた）の保険料を改定しました。



$$\text{基準額 48,500円 (年額)} = \frac{\text{介護保険給付にかかる費用} \times \text{65歳以上の人の負担分 (19\%)}}{\text{65歳以上の人の人数}}$$

段 階	対 象 者	保 険 料 (年額)
第1段階	○本人および世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受給しているかた ○生活保護を受給しているかた	基準額×0.5 24,200円
第2段階	本人および世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計額が80万円以下のかた	基準額×0.5 24,200円
第3段階	本人および世帯全員が住民税非課税で、第2段階以外のかた	基準額×0.75 36,300円
第4段階	本人が住民税非課税のかた（世帯内に住民税課税のかたがいる場合）	基準額 48,500円 ※経過措置有
第5段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が200万円未満のかた	基準額×1.25 60,600円 ※経過措置有
第6段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が200万円以上のかた	基準額×1.5 72,700円

※税制改正に伴って段階が変わったかたについては、引上げ幅が大きくなるため、経過措置として平成20年度まで段階的に保険料の引上げを行います

■問合せ先 保健福祉課または税務出納課へ



平成18年度の各種検診日程が決まりました

総合検診

●今年度は、総合検診の日程に、土曜日・日曜日を加えて実施します。平日都合のつかないかたは、健康福祉課へ連絡のうえ受診してください。

●問診票等は、すでにいただいている申し込みに基づいて、検診日の約半月前に個人通知します。

●基本健康診査、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、結核検診を同一日に実施します。

月 日			受付時間	場 所	対 象 地 区
5	15	月	7:45～9:30	白沼小中学校	沼沢一・二、白子沢、間瀬、明沢、桜沢
5	31	水	7:45～9:30	足中克雪管理センター	足野水、市野沢、百子沢、足水中里、樽口、滝倉
6	14	水	7:10～9:30	健康管理センター	松岡、黒沢、種沢、大滝、町原、田沢頭、西、増岡隣組5～9組
6	22	木	7:45～9:30	叶水基幹集落センター	河原角、新股、上叶水、下叶水、上大石沢、下大石沢
6	23	金	7:10～9:30	健康管理センター	駅前一・二、地蔵町、緑町一・二、東原
7	14	金	7:45～9:30	小玉川小学校	小玉川、長者原、泉岡
7	19	水	7:45～9:30	玉川高齢者コミュニティセンター	玉川、玉川新田、片貝、中田山崎、玉川中里
7	28	金	7:45～9:30	伊佐領小学校	伊佐領、綱木箱口
8	7	月	7:45～9:30	沖庭小学校	舟渡、尻無沢、今市、栃倉
8	8	火	7:45～9:30	沖庭小学校	小渡、館、若山、古田、金目
8	26	土	7:10～9:30	健康管理センター	幸町一・二、栄町一・二、小国町一・二
8	27	日	7:10～9:30	健康管理センター	坂町一・二・三・五、本町一・二・三
9	21	木	7:45～9:30	五味沢活性化センター	三ヶ字、五味沢、石滝、樋倉徳綱
9	22	金	7:45～9:30	越中里活性化センター	越長、六ヶ字
9	26	火	7:45～9:30	宮の森会館	増岡隣組1～4組、大宮、宮の台
10	11	水	7:10～9:30	健康管理センター	岩井沢一・二、上岩井沢、北、旭町
10	22	日	7:10～9:30	健康管理センター	兵庫館一・二、平林、あけぼの、若竹寮、小芦

乳幼児健診

※乳幼児健康診査の
場所は、健康管理
センターです。

■4カ月児、1歳児健康診査

●受付時間 13:00～13:15

月 日	4カ月児対象者	1歳児対象者
4月28日(金)	H17年12月生まれ	H17年4月生まれ
5月26日(金)	H18年1月生まれ	5月生まれ
6月30日(金)	2月生まれ	6月生まれ
7月28日(金)	3月生まれ	7月生まれ
8月25日(金)	4月生まれ	8月生まれ
9月22日(金)	5月生まれ	9月生まれ
10月27日(金)	6月生まれ	10月生まれ
11月24日(金)	7月生まれ	11月生まれ
12月22日(金)	8月生まれ	12月生まれ
1月26日(金)	9月生まれ	H18年1月生まれ
2月23日(金)	10月生まれ	2月生まれ
3月23日(金)	11月生まれ	3月生まれ

■1歳6カ月児健康診査

●受付時間 12:30～13:00

月 日	対 象 者
6月16日(金)	平成16年10月、11月、12月生まれ
9月15日(金)	平成17年1月、2月、3月生まれ
12月15日(金)	平成17年4月、5月、6月生まれ
3月9日(金)	平成17年7月、8月、9月生まれ

■2歳児歯科健康診査

●受付時間 13:00～13:15

月 日	対 象 者
5月31日(木)	平成15年9月、10月、11月生まれ
8月23日(木)	平成15年12月、平成16年1月、2月生まれ
11月29日(木)	平成16年3月、4月、5月生まれ
2月7日(木)	平成16年6月、7月、8月生まれ

■3歳児健康診査

●受付時間 12:30～13:00

月 日	対 象 者
4月14日(金)	平成14年8月、9月、10月生まれ
7月14日(金)	平成14年11月、12月、平成15年1月生まれ
10月13日(金)	平成15年2月、3月、4月生まれ
1月12日(金)	平成15年5月、6月、7月生まれ

レディース検診

■子宮がん検診

- 時 間 13:30～15:30
(受付13:00～13:30)
●場 所 健康管理センター



月 日	対 象 地 区
5 22 月	白子沢、沼沢一・二、間瀬、足野水、市野沢、百子沢、足水中里、樽口、田沢頭、西、増岡、河原角、新股、上叶水、下叶水、上大石沢、下大石沢、大滝
6 20 火	種沢、松岡、町原、駅前一・二、地蔵町、緑町一・二、東原、大宮、宮の台、上岩井沢
7 25 火	伊佐領、箱の口、小玉川、長者原、泉岡、舟渡、尻無沢、今市、小渡、館、古田、幸町一・二
8 10 木	栄町一・二、小国町一・二、越長、六ヶ字、三ヶ字、五味沢、石滝、坂町一・二・三・五
9 6 水	本町一・二・三、玉川、玉川新田、片貝、中田山崎、玉川中里、岩井沢一・二、北、旭町、兵庫館一・二、平林、あけぼの、小芦

■乳がん・骨密度・子宮がん検診

- 時 間 12:00～16:00
(受付11:45～12:00 健康管理センター)
●場 所 南陽検診センター

月 日	対 象 地 区
6 13 火	白子沢、沼沢一・二、間瀬、伊佐領、箱の口、河原角、新股、上叶水、下叶水、上大石沢、下大石沢、大滝、種沢、松岡、駅前一・二、地蔵町、町原、東原、岩井沢一・二
7 12 水	田沢頭、西、増岡、足野水、市野沢、百子沢、足水中里、樽口、緑町一・二、小国町一・二、栄町一・二、小玉川、長者原、泉岡、大宮、宮の台、小渡、館、古田、尻無沢
8 9 水	舟渡、今市、坂町一・二・三・五、本町一・二・三、幸町一・二、玉川、玉川新田、片貝、中田山崎、玉川中里
9 12 火	兵庫館一・二、平林、旭町、北、上岩井沢、越長、六ヶ字、三ヶ字、五味沢、石滝、あけぼの、小芦

■乳がん検診・骨密度

- 時 間 13:30～15:00 (受付13:00～13:15)
●場 所 町立病院

月 日	対 象 地 区
5 23 火	白子沢、沼沢一・二、間瀬、足野水、市野沢、百子沢、足水中里、樽口、河原角、新股、上叶水、下叶水、上大石沢、下大石沢、種沢
5 24 水	
5 25 木	
5 30 火	
5 31 水	
6 1 木	
6 6 火	
6 7 水	
6 8 木	
6 14 水	
6 15 木	町原、大滝、松岡、田沢頭、西、増岡、駅前一・二、緑町一・二、地蔵町、東原、大宮、宮ノ台、伊佐領、箱の口、小玉川、長者原、泉岡、舟渡、尻無沢、今市、小渡
6 21 水	
6 22 木	
6 27 火	
6 28 水	
7 4 火	
7 5 水	
7 6 木	
7 11 火	
7 13 木	
7 18 火	館、古田、小国町一・二、栄町一・二、幸町一・二、越長、六ヶ字、三ヶ字、五味沢、石滝、玉川、玉川新田、片貝、中田山崎、玉川中里、坂町一・二・三・五、本町一・二・三、岩井沢一・二
7 19 水	
7 20 木	
7 26 水	
7 27 木	
8 29 火	
8 30 水	
8 31 木	
9 5 火	
9 7 木	
9 13 水	旭町、北、上岩井沢、兵庫館一・二、平林、あけぼの、小芦
9 14 木	
9 19 火	
9 20 水	
9 26 火	
9 27 水	
9 27 水	予備

集団予防接種

■ポリオ

- 受付時間 13:00～13:30
●場 所 健康管理センター



月 日	対 象 者
5月17日(水)	H17年6月1日～12月31日生まれの子ども
6月28日(水)	
9月13日(水)	H18年1月1日～5月31日生まれの子ども
11月1日(水)	



町職員の
人事異動

() は前職

●退職(3月31日付)

▼盛田信明(税務出納課長)
▼横山幸充(地域整備課建設
工務担当課長補佐)▼佐藤欣
彦(税務出納課主事)▼高野
潤(町立病院医師)▼伊藤美
雪(町立病院看護師)▼高橋
良子(町立病院看護師)▼
伊藤恵(介護老人保健施設介
護員)▼大竹仁(学校教育専
門員(兼指導主事))▼貝沼か
ち(教育委員会事務局主任)

●新採(4月1日付)

▼新澤恵(産業振興課技師)
▼今博貴(地域整備課主事補)
▼佐藤智佳子(町立病院医師)
▼今秀之(学校教育専門員
(兼指導主事))

●昇任・昇格(4月1日付)

▼町立病院産婦人科医長(兼)
介護老人保健施設医師(同医
師(兼)介護老人保健施設医
師)高木潤一▼町立病院内科
医長(兼)介護老人保健施設医
師(同医師(兼)介護老人保健
施設医師)伊藤宏▼税務出納
課出納室長(同課課税担当主
査)伊藤要一▼産業振興課農
村経営室長(同課農村経営担
当主査(兼)農林業振興担当主

査)舟山博▼産業振興課地域
産業室長(総務企画課庶務管
財担当主査(兼)法務行政担当
主査)後藤和人▼地域整備課
住宅環境室長(同課業務管理
担当主査(兼)住宅環境担当主
査)齋藤一▼町立病院事務次
長(兼)訪問看護ステーション
次長(税務出納課収納担当主
査)川俣幸雄▼総務企画課政
策企画担当主査(兼)横川ダム
推進担当主査(同課政策企画
担当係長)仁科清春▼産業振
興課農村経営担当主査(同課
農村経営担当係長)井上伊勢
男▼地域整備課業務管理担当
主査(同課業務管理担当係長)
木村広英▼町立病院医事主査
(兼)療養係長(同医事係長
(兼)療養係長)遠藤裕子▼町
民課町民生活係長(同主任)
梅川俊男▼総務企画課主任
(同主事)中津川典広▼健康
福祉課主任保健師(同課保健
師)野本恵利子▼地域整備課
主任技師(同課技師)伊藤鉄
哉▼町立病院主任看護師(同
看護師)桜井洋子▼総務企画
課主事(同課主事補)木村綾
▼町民課主事(健康福祉課主
事補)佐藤正樹▼地域整備課
主事(同課主事補)安部淳

●配置替え(4月1日付)

▼総務企画課長(同課長(兼)
横川ダム推進室長)小林新太
郎▼税務出納課長(介護老人
保健施設事務長)伊藤幸治▼

健康福祉課長(兼)健康管理セ
ンター所長(兼)地域包括支援
センター所長(同課長(兼)健
康管理センター所長(兼)在宅
介護支援センター所長)小池
克昌▼町立病院事務長(兼)訪
問看護ステーション所長(兼)
介護老人保健施設事務長(町
立病院事務長(兼)訪問看護ス
テーション所長)井上邦彦▼
総務企画課地域振興室長(税
務出納課出納室長)岩沢ちか
▼総務企画課政策企画室長
(兼)横川ダム推進室長(同課
政策企画室長(兼)横川ダム推
進担当主査)阿部英明▼町民
課長補佐(兼)斎場建設担当主
査(町民課長補佐)舟山忠夫
▼健康福祉課健康管理室長
(兼)地域包括支援センター次
長(同課健康管理室長(兼)在
宅介護支援センター次長)舟
山正雄▼地域整備課建設工務
担当課長補佐(産業振興課農
村経営室長)野澤正美▼介護
老人保健施設事務次長(兼)庶
務係長(町立病院事務次長
(兼)訪問看護ステーション次
長)朝妻完治▼税務出納課課
税担当主査(町民課住民窓口
担当主査)大場妙子▼税務出
納課地域調査担当主査(産業
振興課総合産業化推進担当主
査)舟山良一▼健康福祉課生
活福祉担当主査(税務出納課
地域調査担当主査)小池昭彦
▼産業振興課総合産業化推進
担当主査(町民課町民生活担

当主査)齋藤勉▼総務企画課
庶務管財担当係長(教育委員
会事務局教育振興担当係長)
益田則幸▼総務企画課付係長
(税務出納課課税担当係長)
金鋼一▼町民課住民窓口係長
(同課町民生活係長)松山茂
▼地域包括支援センター地域
包括支援担当係長(介護老人
保健施設庶務係長(兼)相談指
導員)伊藤優子▼健康福祉課
健康推進担当係長(同課健康
推進担当係長(兼)在宅介護支
援センター係長)横山順子▼
産業振興課商工観光振興担当
係長(議会事務局議事係長
(併)監査係長)舟山実恵子▼
介護老人保健施設療養係長
(兼)相談指導員(同施設療養
係長)井上秀子▼税務出納課
主任(産業振興課主任)那須
野政夫▼地域包括支援セン
ター主任保健師(在宅介護支
援センター主任保健師)宮尾
とも子▼おぐに保育園主任保
育士(兼)小国中央児童室主任
児童厚生員(白沼保育園主任
保育士)梅津里美▼白沼保
園主任保育士(おぐに保育園
主任保育士(兼)小国中央児童
室主任児童厚生員)色摩恵美
子▼産業振興課主任(総務企
画課主任)佐藤重美▼総務企
画課主事(町立病院主事)渡
部由美▼総務企画課主事(地
域整備課主事)横山真也▼総
務企画課主事(産業振興課主
事)渡部寿郎▼税務出納課主

事(総務企画課主事)高橋俊
典▼町民課主事(議会事務局
書記(併)監査委員事務局書
記)廣瀬孝徳▼地域包括支援
センター保健師(健康福祉課
保健師)井上ひとみ▼産業振
興課主事(教育委員会事務局
主事)舟山清一▼地域整備課
主事(総務企画課主事)小野
正晴▼地域整備課主事(総務
企画課主事)青木真由美▼介
護老人保健施設主事(地域整
備課主事)貝沼俊明▼おぐに
保育園調理師(町立病院調理
師)飯田恵子▼議会事務局主
任書記(併)監査委員事務局主
任書記(産業振興課主任)渡
部由美子▼教育委員会事務局
教育次長(兼)おぐに開発総合
センター所長(教育委員会事
務局教育次長(兼)おぐに開発
総合センター所長(兼)小国町
民体育館長)高橋和衛▼教育
委員会事務局教育次長補佐
(産業振興課地域産業室長)
遠藤芳昭▼小国町民体育館長
(兼)体育振興担当教育次長補
佐(兼)体育振興担当係長(教
育委員会事務局教育次長補
佐)三宅清▼教育委員会事務
局教育振興担当主査(産業振
興課商工観光振興担当主査)
加藤康浩▼教育委員会事務局
主事(地域整備課主事)田村
英明▼教育委員会事務局主事
(町民課主事)横山真由美▼
北部小学校調理員(おぐに保
育園調理員)渡部とも子

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

兵庫 齋藤 姫奈 (覚 佳奈子)
 小国小坂町 舟山 留愛 (泰 則 希)
 あけぼの 小林 輝生 (博 紗 織)

結婚おめでとうございます。

(山形市 武田 昭 浩
 幸 町 高 橋 里 美)

おくやみ申し上げます。

小国小坂町 小 嶋 幸 男 (81)
 金 目 齋 藤 久 吉 (85)
 大 滝 渡 部 菊 雄 (80)
 貝 少 木 村 源太郎 (103)
 小 玉 川 舟 山 ス ミ (85)
 舟 渡 齋 藤 君 雄 (58)
 五味 沢 齋 藤 速 美 (81)
 北 津 谷 永 子 (31)
 岩 井 沢 渡 邊 フジノ (92)
 あけぼの 矢 部 キ イ (82)
 緑 町 高 橋 忠 雄 (58)
 岩 井 沢 高 橋 安 雄 (74)

人口のうごき

人 口 男 … 4,781人(－9)
 女 … 5,052人(+1)
 計 … 9,833人(－8)
 世帯数 3,283世帯(－4)
 平成18年2月28日

固定資産税課税台帳の閲覧 土地家屋価格等帳簿の縦覧

平成18年度固定資産税課税台帳の閲覧と、土地家屋価格等帳簿の縦覧を行います。

この機会に所有する資産等を確認してください。

■縦覧期間 4月3日(月)～5月31日(水)
 (土・日曜日、祝祭日を除く)

■時 間 午前8時30分～午後5時

■場 所 税務出納課

■問 合 先 税務出納課へ



狂犬病予防注射

犬を飼う場合、飼い主のかたは愛犬に、年に1度必ず狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。

平成18年度の狂犬病予防注射を4月に行いますので、最寄りの実施場所ですべての犬に予防注射を受けてください。

■持参するもの 鑑札、狂犬病予防注射の通知はがき
 ※はがきは犬の登録をされているかたへ後日送付します。
 未登録のかたへは送付されません。

■犬の登録について 犬を飼う場合は、町への登録が必要です。まだ登録していないかたは、予防注射の際に手続きをしてください。

日 程

月日	時 間	場 所
4月11日(火)	9:30～9:35	沼沢除雪センター前
	9:40～10:00	白子沢警鐘台前
	10:05～10:30	J R 沼沢駅前
	10:50～11:10	叶水基幹集落センター
	11:25～11:50	伊佐領会館前
	13:00～13:20	種沢農村公園
	13:30～14:20	ふれあいの家駐車場
	14:30～15:30	小国町役場東側駐車場
4月12日(水)	9:50～10:20	沖庭小学校前
	10:25～10:35	むつみ会館前
	10:50～11:00	長沢公民館前
	11:10～11:30	五味沢活性化センター前
	13:20～13:30	小玉川保育園(保健福祉館)前
	13:35～13:45	玉川中里公民館前
	14:00～14:15	玉川高齢者コミュニティセンター前
	14:25～14:35	足野水きのか園管理所前
	15:00～15:30	宮の森会館前

■問合先 町民課へ



体育協会設立五十周年記念

シリーズ最終回

健康・体力づくりのあゆみ

健康・体力づくりのあゆみと題して、体育協会主催の地区対抗行事を中心に思い出をお伺いしてきました。

最終回の今月は、親しみやすく、どこでも誰とでも楽しく取り組むことができるスポーツとして、新しく平成七年から行われているニュースポーツについて、市川満喜子さん（あけぼの）にお話を伺いました。

上手下手は別に
楽しんでいきます！



市川 満喜子さん

「ニュースポーツの競技では、ペタンクとゲートボールに参加しています。私はペタ



子どもからお年寄りまで楽しむことができるペタンク

これまで知らなかった体験がいろいろできてほんとに楽しいです。

勝てばなお嬉しいですが、上手下手は別として、とにかく楽しんでできるので毎年参加しています。同じチームの若い選手と一緒に頑張って応援したり、時には作戦を練ったりもしますが、玉がなかなか思うところにならないこともよくあります。ペタンクは玉の投げ方にコツがあり、最近はようやく慣れて上達してきて

いるようです。

大会の後の慰労会はさらに楽しいです。楽しいからこそ参加するし、毎年選手として声をかけてもらえることがなによりも嬉しいです。体が動くかぎり皆さんと楽しんでいきたいと思っています」。

出会いとともに



春をつげる水辺の白い妖精(増岡地内)

広報の担当となつて一年が経過しました。長かったのか、あつという間だったのか、去年の今頃、上司から広報担当の話を聞いた時の心境を思い出します。不安と希望を胸にカメラの使い方から教えてもらいスタートしたこの一年間、たくさんのかたに出会い、いろいろなお話を聞きすることができました。それまで何気なく過ごしてきた生活の一コマ、あることがあたりまえのように思っていた小国の美しい自然、関心を持つことであらゆることから新鮮で感動の連続でした。ご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。（舟山）

編集室から

